江戸時代に作られた城の見取り図では、この地域は下台所（ｼﾓﾀﾞｲﾄﾞｺﾛ）と表示されている。 ポルトガルの宣教師ルイス・フロイス（1532ー1597）や他の訪問者たちの記録によると、地方の戦国大名や貴族の跡継ぎたち約100名が信長(1534–1582)の政治的影響力によりここに人質として差し出されていた。フロイスによると彼らは人質というよりも家来のように遇されていたようだ。